

原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2023 月 5 月」

2023 年

- 5 月 1 日 午前 5 時 04 分ごろ、茨城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.2 と推定。茨城県水戸市、土浦市、石岡市、笠間市、ひたちなか市、銚田市、小美玉市、城里町、東海村で震度 3。
- 5 月 1 日 福島第一原発事故による福島県飯舘村の帰還困難区域のうち、特定復興再生拠点区域約 186 ヘクタールと拠点外の公園用地約 0.64 ヘクタールが、解除された。7 市町村にまたがる帰還困難区域で復興拠点外の解除は初めて。
- 5 月 2 日 関西電力が、高浜原発 1、2 号機の再稼働を延期すると発表した。再稼働日程は未定。原子力規制委員会から火災防護対策が不十分と指摘を受け、追加工事が必要になった。加えて、工事計画などの審査が続いているため、再稼働が遅れる見通しとなった。
- 5 月 3 日 日本時間午前 5 時 9 分ごろ、パプアニューギニアでマグニチュード 5.6 の地震が発生した。
- 5 月 3 日 西村経済産業大臣とフランスのパニエリュナシェ・エネルギー移行相と会談し、次世代の原子炉の開発など原子力分野での連携を強化することで合意した。
- 5 月 4 日 日本時間午前 9 時 49 分ごろ、フィリピン北部沖でマグニチュード 5.4 の地震が発生した。
- 5 月 4 日 敦賀原発 2 号機の再稼働に向けた安全審査で、原子力規制委員会が審査を中断した。審査の申請書のうち、原子炉直下の断層に関する部分に誤りが続発したことから、修正して 8 月末までに出し直すよう行政指導した。
- 5 月 4 日 IAEA が、福島第一原発から出る放射性物質トリチウムを含む処理水の海洋放出を巡り、「原子力規制委員会は独立した規制機関として機能している」と評価する報告書を発表した。
- 5 月 5 日 14 時 42 分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 6.3 と推定。石川県珠洲市で震度 6 強、石川県能登町で震度 5 強、石川県輪島市で震度 5 弱、新潟県、富山県、石川県、福井県の広域で震度 4、福島県から関西広域で震度 3。志賀原発、美浜、高浜、大飯原発、柏崎刈羽原発 1～7 号機など各地の原発への影響はないと発表した。

- 5月5日 14時47分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月5日 14時53分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.7と推定。石川県珠洲市で震度4、石川県能登町で震度3。山県、石川県、福井県の広域で震度4、福島県から関西広域で震度3。
- 5月5日 17時38分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.3と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月5日 21時25分ごろ、岩手県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。岩手県大船渡市、釜石市で震度3。
- 5月5日 21時58分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.8と推定。石川県珠洲市で震度5強、石川県能登町で震度5弱、新潟県長岡市、上越市、佐渡市、富山県舟橋村、石川県七尾市、輪島市、穴水町で震度4、上信越広域で震度3。
- 5月5日 22時08分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.8と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月5日 22時26分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月5日 22時34分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月5日 22時46分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月5日 22時51分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.9と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月5日 23時18分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。石川県珠洲市で震度4、石川県能登町で震度3。
- 5月6日 午前2時47分ごろ、青森県東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.5と推定。青森県東通村で震度4、北海道函館市、木古内町、様似町、えりも町、浦幌町、青森県八戸市、むつ市、平内町、外ヶ浜町、野辺地町、東北町、五戸町、南部町、階上町で震度3。
- 5月8日 (情報錯綜)ウクライナ南部ザポリージャ州のロシア占領地統括責任者、エフゲニー・バリツキー氏が、ウクライナ軍による「挑発行為」に備え、ロシア占領下のザポリージャ原子力発電所の一部の稼働を停止していると述べた。

- 5月9日 午前5時14分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.9と推定。石川県珠洲市、能登町で震度4、新潟県上越市、富山県射水市、石川県七尾市、輪島市で震度3。
- 5月9日 午前5時16分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.3と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月9日 福島第一原発事故の賠償に充てる資金のうち、事故を起こした東電だけが支払う「特別負担金」が2022年度は10年ぶりに0円となった。原因は、ウクライナ危機による燃料費高騰のあおりで大幅な赤字に陥ったため。返済が遅れれば国民負担が膨らむ。原発事故で避難した住民や企業への賠償は総額で7兆9000億円かかると見込まれる。国が賠償金を立て替えた後、東電が納める特別負担金や、原発を運営する電力会社が支払う「一般負担金」などにより、毎年度回収する仕組み。
- 5月9日 原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場の選定に向けた全国初の文献調査が進む北海道寿都町で住民の代表らが出席して「対話の場」が開かれた。調査の実施主体のNUMOは処分場の設置場所について、「現時点では明確な不適地はない」との見解を示した。
- 5月10日 原子力規制委員会が定例会合で、福島第一原発1号機原子炉圧力容器を支える鉄筋コンクリートの土台が損傷していた問題で、核燃料が入っていた圧力容器の落下などに備え、東電に求める緊急時の対策について議論する方針を決めた。
- 5月10日 原子力規制委員会が、運転開始60年を超える原発の審査に関し、現行制度で40年を迎える際に義務付けている「特別点検」と同じ項目の劣化評価を電力会社に求めることを決めた。運転履歴や国内外の最新知見も踏まえ、必要に応じて原発ごとの特徴に応じた点検も実施させる。
- 5月10日 原子力規制委員会が、福島第一原発の汚染処理水の海洋放出をめぐる、放出前に濃度を測る放射性物質を64種から30種に変更する東電の計画を認可した。処理前の汚染水の段階で濃度が十分に低い放射性物質を除外するなど、変更は妥当だと判断した。
- 5月10日 (情報錯綜)ロシア軍の占領下にあるウクライナのザポリージャ原発について、ウクライナの国営原子力企業エネルゴアトムが、ロシア側が原発職員ら約3千人の避難を計画しているとした。エネルゴアトムは「運転にあたる職員が不足し、原発の安全維持に支障をきたす恐れがある」と指摘している。
- 5月10日 21時54分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.1と推定。石川県珠洲市で震度3。

- 5月11日 日本時間午前1時02分ごろ、南太平洋(トンガ諸島)を震源とするマグニチュード7.6の地震があった。
- 5月11日 午前4時16分ごろ、千葉県南部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.4と推定。千葉県木更津市で震度5強、千葉県君津市で震度5弱、千葉県千葉美浜区、勝浦市、市原市、鴨川市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市、いすみ市、睦沢町、長南町、大多喜町、東京都千代田区、品川区、神奈川県横浜神奈川区、横浜中区、横浜戸塚区、横浜瀬谷区、横浜栄区、川崎中原区で震度4、茨城県から静岡県広域で震度3。
- 5月11日 12時11分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.4と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度4。
- 5月11日 東京電力が、柏崎刈羽原発で6号機地下の鉄筋コンクリート製くい(1・8メートル)が損傷していた問題で、損傷が見つかった6号機大物搬入建屋を建て替えると発表した。
- 5月11日 松野博一官房長官が記者会見で、福島第一原発の汚染処理水について、「海洋放出の時期は春から夏ごろと示しており、スケジュールに変更はない」と語った。海洋放出には韓国で強い懸念があり、7日の日韓首脳会談で韓国の専門家視察団を23日に受け入れることが決まったが、日本政府は海洋放出の予定は変えない方針。
- 5月11日 18時52分ごろ、日高地方東部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.4と推定。北海道浦河町、幕別町で震度4、北海道函館市、帯広市、むかわ町、平取町、新冠町、様似町、えりも町、新ひだか町、音更町、上士幌町、鹿追町、芽室町、中札内村、更別村、十勝大樹町、広尾町、十勝池田町、豊頃町、浦幌町、岩手県盛岡市で震度3。
- 5月11日 22時33分ごろ、宮古島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.1と推定。沖縄県宮古島市で震度3。
- 5月12日 21時45分ごろ、愛媛県南予を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。愛媛県大洲市、久万高原町で震度3。
- 5月12日 米カリフォルニアでマグニチュード5.4の地震が発生した。
- 5月12日 長崎県対馬市の県建設業協会对馬支部が、原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定の第1段階となる文献調査を巡り、市が文献調査に応募するよう求める請願を市議会に提出することを決めた。文献調査を受け入れた地域には国から最大20億円が交付される。
- 5月12日 杉本達治福井県知事が、今夏に関西電力が所有する稼働原発7基がすべて動く可能性があることを踏まえ、「原子力政策は安全が最優先。原子力安全対策課を中心に、必要な措置を提言する。必要な時には止めるという判断もあるかもしれない」と述べた。

- 5月12日 九州電力が、廃炉作業中の玄海原発1、2号機の定期事業者検査を終了したと発表した。異常は見つからなかったとしている。
- 5月12日 福島第一原発の処理水海洋放出を巡り韓国の専門家らが現地視察する計画を調整するため、日韓の外務省局長級協議がソウルで行われた。視察は23日からの予定。規模は20人ほどを計画しており、原発事故を受けた日本の水産物の輸入規制解除について「問題がないと立証され、国民が情緒的に受け入れる段階になるまでは、解除はない」と強調した。
- 5月13日 九州電力が、川内原発2号機の定期検査を始めた。設備に異常がないかを点検し、7月中旬に発電を再開し、8月中旬に営業運転に入る予定。
- 5月13日 16時10分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.1と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度5弱、鹿児島県屋久島町で震度3。
- 5月13日 16時14分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.4と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 5月14日 午前0時09分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.1と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 5月14日 17時12分ごろ、八丈島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.6と推定。東京都神津島村で震度3。
- 5月15日 日本時間午前7時ごろ、クリル諸島付近でマグニチュード5.1の地震が発生した。
- 5月15日 東京電力が、福島第一原発1、2号機の間にある汚染された配管の切断を再開し、13日未明に約8メートル分を撤去したと発表した。切断・撤去する配管は残り約100メートル。東電は6月までの作業完了をめざすとする。
- 5月16日 午前1時34分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.3と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 5月16日 東京電力が、福島第一原発で、処理水の海洋放出設備を報道陣に公開した。沖合の放出口と結ぶ海底トンネルは4月下旬に掘削作業が終了。放出に絡む全工事は6月末までに完了する予定。
- 5月17日 原子力規制委員会が、テロ対策不備が相次いだ柏崎刈羽原発について、事実上の運転禁止命令を解除しないことを決めた。追加検査で27項目のうち4項目で引き続き改善が必要と判断した。今後も検査が続くため、6、7号機の早期再稼働は困難になった。
- 5月18日 福島第一原発の処理水の海洋放出計画をめぐり、放出後の海水中のトリチウム濃度の測定で、放出を停止する指標となる値を発表した。放水口近くの原発3キロ以内で1リットルあたり700ベクレル、10キロ四方で30ベクレル。この濃度を超えた場合を「異常」と判断する。

- 5月18日 川内原発の運転延長を巡る鹿児島県の専門委員会で、運転延長の検証結果を取りまとめた報告書案が示され、大筋で合意した。
- 5月18日 19時49分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。石川県珠洲市で震度3。
- 5月19日 午前6時56分ごろ、豊後水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.4と推定。愛媛県伊方町で震度4、愛媛県宇和島市、八幡浜市、西予市、内子町、高知県宿毛市、熊本県産山村、大分県臼杵市、豊後大野市、国東市で震度3。
- 5月19日 日本時間午前11時57分ごろ、南太平洋(ローヤリティー諸島南東方)でマグニチュード7.7の地震が発生した。
- 5月19日 定期検査中の伊方原発3号機で、原子炉格納容器内にある制御棒を出し入れする装置の空調系統で、水漏れなどを検査しようと点検口を開けた際、作業員が持っていた工具を持ち運ぶための袋が吸い込まれるトラブルがあり、来週予定していた原子炉の起動などが1日程度遅れる可能性がある。
- 5月19日 東京電力が、放出した処理水が十分に拡散してない状況が確認された場合には、放出を停止することにし、独自の基準を設けた。海水に含まれるトリチウムの濃度で、第一原発から3キロ以内の10地点では1リットルあたり700ベクレル、10キロ以内の4地点では1リットルあたり30ベクレル。
- 5月19日 川内原発1号機で行われていた定期検査が終了し、営業運転に復帰した。
- 5月20日 日本時間午前10時51分ごろ、南太平洋(ローヤリティー諸島南東方)でマグニチュード7.1の地震が発生した。
- 5月21日 G7サミットが5月19日から3日間の日程で、広島市で行われた。
- 5月21日 日本時間19時ごろ、クリル諸島付近でマグニチュード5.0の地震が発生した。
- 5月21日 日本時間21時46分ごろ、トルコ南部でマグニチュード4.9の地震が発生した。
- 5月22日 午前7時20分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.4と推定。鹿児島県奄美市、喜界町で震度3。
- 5月22日 午前10時53分ごろ、新島・神津島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。東京都利島村、新島村で震度3。
- 5月22日 16時42分ごろ、新島・神津島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.3と推定。東京都利島村で震度5弱、東京都新島村で震度4、静岡県牧之原市、東伊豆町で震度3。

- 5月22日 17時27分ごろ、新島・神津島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。東京都利島村で震度3。
- 5月22日 福島第一原発の汚染処理水の海洋放出を巡り、汚染水の処理プロセスを点検する韓国政府の視察団が訪日した。東京電力、経済産業省、原子力規制委員会など日本の関係機関と技術会議を開き、質疑応答、福島第一原発を視察し、汚染水の管理実態を確認する予定。
- 5月22日 19時46分ごろ、新島・神津島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.1と推定。東京都利島村、新島村で震度4。
- 5月22日 東京電力が、柏崎刈羽原発6号機の火災防護措置など安全対策に関する書類を紛失したと発表した。テロ対策など安全上重要な情報は含まれていないとしている。書類は火災防護措置など原発の壁の貫通部についての安全対策工事に関するもの。
- 5月22日 福島第一原発事故で発生した除染廃棄物8万5122袋について、栃木県那須町が、事故後、町内の住宅や公共施設約9600カ所の敷地で保管してきたものを同町の大島の町有地約8ヘクタールに集約すると発表した。
- 5月23日 午前4時31分ごろ、新島・神津島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。東京都利島村で震度3。
- 5月24日 午前1時31分ごろ、新島・神津島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。東京都利島村で震度3。
- 5月24日 原子力規制委員会が、高速実験炉「常陽」が新規規制基準に適合したことを示す審査書案を了承した。事実上の審査通過で、今後、意見公募を経て審査書を正式に決定する。
- 5月24日 原子力規制委員会が、福島第一原発1号機の原子炉圧力容器を支える土台の損傷について、敷地外に放射性物質が飛散するケースも想定し、対策を検討するよう東電に指示する方針を決めた。
- 5月24日 女川原発2号機再稼働に関して、原告である石巻市住民17名が、原発に重大な事故が起きたときの「広域避難計画」に実効性がないとして差し止めを求めていた裁判について、第一審の仙台地方裁判所は訴えを棄却するという判決をした。原告側は控訴し、上級裁判所に再審査を求めるとしている。
- 5月25日 午前6時55分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは2.9と推定。鹿児島県十島村で震度3。
- 5月25日 日本時間12時05分ごろ、中米(パナマ/コロンビア国境)を震源地とするマグニチュード6.6の地震が発生した。

- 5月25日 福島第一原発の処理水の海洋放出計画を巡って韓国が派遣した視察団が、都内で日本側と技術面に関する会議を開き、全ての視察日程を終了した。安全性の評価についての結論は後日発表する。
- 5月26日 玄海原発の事故発生を想定し、佐賀県内の自治体に対して実施したアンケートについて、市民団体が調査結果を公表した。原発から半径30キロ圏外に関して、避難指示があった場合のモニタリングや退避など被ばくを避けるための行動(防護措置)について、回答があった15市町村のうち12市町が「措置を講じていない」と回答した。
- 5月26日 運転期限が迫る鹿児島島の川内原発の運転延長を巡り、塩田康一鹿児島県知事が、政策綱領で「必要に応じて実施する」と掲げていた県民投票を行わない方針を示した。県民の意向を把握するための手段として、原子力規制委員会などに提出する県の要請書案についての意見を募集する。
- 5月26日 14時ごろ、伊方原発3号機で発電機用の窒素ガス配管の接続部から窒素ガスが漏れるトラブルが発生した。窒素ガスは、発電機で緊急事態が発生した際、爆発など事故を防ぐためのもの。部品や中身が少なくなったポンペを交換し、復旧作業を終えた。
- 5月26日 19時03分ごろ、千葉県東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.2と推定。茨城県神栖市、千葉県銚子市、旭市で震度5弱、茨城県ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、稲敷市、行方市、銚田市、小美玉市、茨城町、河内町、千葉県成田市、東金市、印西市、匝瑳市、香取市、山武市、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町で震度4、宮城県から関東甲信越の広域で震度3。
- 5月27日 日本時間午前9時11分ごろ、南太平洋のトンガでマグニチュード6.0の地震が発生した。
- 5月27日 22時52分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.7と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度4。
- 5月27日 23時33分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.2と推定。鹿児島県鹿児島十島村で震度3。
- 5月28日 原水爆禁止日本国民会議と原子力資料情報室、北海道平和運動フォーラムが、高レベル放射性廃棄物についての提言をまとめ、発表した。地下深くに埋める地層処分を見直し、脱原発による核のごみの総量管理と長期的な保管を求めている。
- 5月29日 福島第一原発の汚染処理水放出を巡り、IAEAが来日して、調査を行っている。
- 5月29日 建設中の大間原発について、原子力規制委員会に提出した書類に、原発周辺の断層が引き起こす地震の強さを求める計算をする際、地表から断

層上端までの深さを本来 3000 メートルと入力するところ、誤って 3 メートルとデータの入力ミスがあった。これにより、安全性を確認する審査が行えない状態になっている。これにより、本来の想定以上に地震の強さが大きくなるという結果になっている。

- 5 月 29 日 九州電力が、定期検査を実施している鹿児島県薩摩川内市の川内原発 2号機の、核燃料を取り出す作業を報道陣に公開した。
- 5 月 30 日 宮城県が、女川原発を設置する東北電力から徴収している核燃料税の交付対象の自治体について、これまでの石巻市と女川町から、原発から30 キロ圏内の自治体まで拡大することになった。
- 5 月 30 日 国連安全保障理事会で、国際原子力機関のグロッシ事務局長が、ロシア軍の占領下にあるウクライナ中南部ザポリージャ原発の現状を報告して、保護するための「5 原則」をロシアとウクライナに提案した。
- 5 月 30 日 17 時 49 分ごろ、能登半島沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.5 と推定。石川県珠洲市で震度4。
- 5 月 30 日 20 時 16 分ごろ、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 3.8 と推定。熊本県熊本南区、宇土市、宇城市、嘉島町で震度3。
- 5 月 30 日 全国原子力発電所所在市町村協議会の定例総会が開かれた。4月の市長選当選に伴い、淵上隆信・前敦賀市長の全原協会会長職任期を引き継ぐことになった新市長である米澤会長が、「原子力発電所の現場で働く仲間や立地市町村の皆さん、そして東京電力福島第一原子力発電所事故被災地の皆さんの思いを背負っていく決意だ」と就任の抱負を語った。
- 5 月 31 日 エネルギー関連の五つの法改正をまとめて、原発の 60 年超運転を可能にする「GX(グリーン・トランスフォーメーション)脱炭素電源法」が、参院本会議で可決、成立した。
- 5 月 31 日 国際原子力機関が、福島第一原発から海洋放出される予定の汚染処理水を採取して分析した結果、東電の放射性物質の測定は正確だったと評価する報告書を公表した。昨年 3 月に採取。IAEA が持つ複数の研究所のほか、フランス、韓国、スイス、米国の独立した研究施設がそれぞれサンプルを分析し、東電の分析と比較した。